

飛翔OB会

同窓会
会報

令和 6 年 3 月 2 日
第 31 号



校長 黒坂 孝

「NIKOプログラム」

四月の校長就任以来、同窓会の皆様には本校の教育活動全般にわたり、格別のご理解・ご支援をいただきまして、心よりお礼申し上げます。

四月の校長就任以来、同窓会の皆様には本校の教育活動全般にわたり、格別のご理解・ご支援をいただきまして、心よりお礼申し上げます。

が強いのに対して、「志」は社会的意義のある、多くのの人にとって有益な何かを成し遂げようとする

本校では、多様化する子どもたちや学びたい気持ちを持つすべての人々に学習機会を提供するとともに、自立して学べる学習環境を整備すること

で、社会に主体的に関わる人材、社会的・職業的に自立できる人材を育成することを

DN A 解明の世界的権威である村上和雄氏には「生命の暗号」という著書

令和六年度から通信制課程を開いたし、令和七年度には、五十周年

から、「感性と遺伝子」は繋がっていることを究明し、人間の持つ可能性

を「伝子 ON」の生き方として、氏は次の三つを挙げ

共々、これまでと変わらぬご支援を賜ればと願っております。

さて、四月の始業式では生徒に「夢」と「志」の違いについて話しました。

本校には、生徒の「眠る遺伝子」を ON にする仕掛けが既に存在している

望や願望を指す意味合い

刺激と物質レベルだけ

が「NIKOプログラム

「志」のあるところに道はあります。生徒の定めた「志」の実現のために、教職員共々一丸となつて取り組んで行く所存です。

八戸工業大学第二高等学校四十九回生の皆様、ご卒業まことにおめでとうございます。謹んでお祝いを申し上げます。

「コミュニケーションの大切さ」

同窓会会長 岩 淵 義 昭

働き方の面でも、我々は大変な転換期の中にいます。AI 技術の進化により、日本の労働人口の約半分は人工知能やロボット等で代替可能になるとの予測も出ています。副業を認める会社が

増えるなか、JR 各社でも従業員への副業の解禁が話題になりました。来年度からは、運送業界や建設業界を中心に、産業界を大きく揺るがす「二〇二四年問題」も懸念され、各社が生き残り

難に直面した時は素直にそして謙虚に周りに相談し、耳を傾ければいいのです。遠慮したり虚勢を張ったり、変なプライドを誇示したりせず、心を許せる仲間や恩師の先生に悩みを打ち明けてください。

第48回同窓会定例幹事総会

創立50周年に向けて新体制役員が承認される

令和5年3月11日午後4時半より割烹金剛において、「第48期八戸工業大学第二高等学校同窓会定期幹事会総会」が開催されました。

有効人数91名、出席者18名、委任状46名、よって本会は成立しました。

岩淵会長の挨拶のあとに、議題の審議が行われました。

第一号議案

〔第47期（令和4年度）活動報告及び会計報告〕
審議の結果、全会一致で承認されました。

第二号議案

〔第48期（令和5年度）活動計画及び予算案〕
審議の結果、全会一致で承認されました。

第三号議案

「規約並びに内規規約改正の件」

＊規約第4条（3）専務幹事を「幹事長」に変更

＊規約第4条（6）本部常任幹事は、光彩会会員でなくても就くことができるようになりしました。

＊内規規約2.（3）母校協賛金「削除」将来の同窓会予算を試算した結果、収入（卒業する生徒数）が少なくなることによる。

＊（3）定年退職教員祝金は、二高勤続30年以上は五万円、30年未満20年以下は三万円、20年未満は一万円とし、

送別会には車代五千元を渡すこととする。審議の結果、全会一致で承認されました。

第四号議案

「役員改選の件」

4期目の岩淵会長をはじめ副会長、監事役員が全会一致で承認され、引き続き、他の役員が岩淵会長より指名されました。

役員次の通りになります。（☆は新任若しくは昇格、*議決権なしのアドバイザ）

（1）名譽顧問

＊熊谷 雄一（6回生）

（2）会長

岩淵 義昭（4回生）

（3）副会長

石塚 利孝（3回生）
柄本 俊一（14回生）

（4）事務局長

☆越後林寛之（21回生）

（5）専務幹事

住吉砂津貴（6回生）

（6）常任幹事

☆椋内有希子（20回生）
☆福井 智久（23回生）
☆西塚 務（26回生）
☆森 幸見（26回生）
越後喜代志（27回生）
千葉 貴紀（32回生）

（7）監事

☆小山 直也（13回生）
千葉 三代（19回生）

（8）顧問

＊小野 善一（4回生）

（9）相談役

＊住吉 治彦（0回生）

☆関東支部役員

（1）支部長 植村 昭雄（10回生）

（2）副支部長

永田 美香（11回生）
大久保 平（20回生）

（3）常任支部幹事

☆細見 恵美（16回生）
☆濱谷 大樹（25回生）
原 辰徳（25回生）
☆藤好 佳子（26回生）
☆吉田 悠馬（45回生）

（4）事務局長

住吉砂津貴（6回生）

（5）相談役

＊高森 敏（4回生）

（6）参与

＊市沢 司（7回生）

☆関東支部選任幹事

市澤 正隆（3回生）
渡邊 育子（11回生）
八畝 貴子（13回生）
日高 寛直（17回生）
三浦裕美子（19回生）
佐々木信綱（19回生）

☆関東支部幹事

沼山 秀樹（3回生）
国本 和子（4回生）
☆工藤 珠代（6回生）
☆小山 真央（7回生）
大溝 英之（7回生）
宮尾 典子（7回生）
山口智恵子（7回生）
佐々木芳子（10回生）
高嶋 一機（13回生）
立崎 直子（13回生）
☆山内 政幸（18回生）
☆住吉 貴恵（31回生）
岩織 祥太（42回生）
酒井 すす（47回生）
吉村 涼菜（47回生）
☆木村 岳寛（48回生）
☆森 美優（48回生）
☆佐々木那琉（48回生）
☆馬渡 庸（48回生）
☆左京 花樹（48回生）
☆濱久保 葵（48回生）

第48回納涼パーティー

☆小坂 まい（48回生）
☆津嶋 心（48回生）
☆鈴木 瑠月（48回生）
☆小田切 笙（48回生）
☆笠間明日花（48回生）
第五号議案
その他「光彩会会則変更の件」
有効人数55名

賛成34名
反対1名
「書面臨時光彩会総会過半数の賛成により、次の通り改正されました。」
*第四条1年以内に会費を未納の場合は、自動的に退会扱いとする。
*第八条本会の役員は、

同窓会5役員が兼任して運営する。
お悔やみ
磯島 宏克様（1回生）
ご冥福をお祈り致します。

第48回納涼パーティーは、8月11日（金）18時から八戸パークホテルでリアルとオンラインで開催されました。また、昨年に引き続き、座席指定で開催して約百名のご来賓、教職員、同窓生、家族が参加されました。司会は、フリーアナウンサー椋内有希子（常任幹事）とオフィス自由人代

表住吉砂津貴（事務局長）の二人で進行しました。岩淵義昭同窓会会長の挨拶にはじまり、ご来賓を代表して今年4月から8代目の黒坂孝校長からは、母校の近況報告を含めた学校の説明があり、八戸市市長熊谷雄一（名誉顧問）による母校の益々の発展を祈念しての乾杯の発声があり、今年

の卒業生を中心に和やかな雰囲気でした。オンラインでは、関東支部のチンドン芸能代表の永田美香（関東支部副会長）をはじめ多くの皆さんが参加されました。恒例の大抽選会では、景品のApple Watchを、今年の卒業生が当ておおいに盛り上がり



二高教員インタビュー

還暦を迎えた先生からのメッセージ

今年度還暦を迎えられた二人の先生に、教員生活の思い出と同窓生へのメッセージを伺いました。

【藤沢敦史先生】



☆教員生活の思い出について教えて下さい。

生徒の皆さんと一緒に行った様々な活動が思い出に残っています。授業や部活動、ホームルームでのことはもちろん、美術コースならではの取り組みもありました。

NHKの番組で映像作品を制作したり、東奥日報の社屋に大きなモニタメントを作ったり、現在も公に使われているマスコットキャラクターをデザインしたり、新幹線開通のイベントでディスプレイをしたり、多種多様なことをしてきました。

実際にやっているときは本当に大変でしたが、学外で社会と関わって制作することは貴重な経験で、面白さがありました。生徒の皆さんにとって良い勉強になっていたとすれば幸いです。

れば幸いです。

☆同窓生の皆さんへ一言お願いします。

同窓生の皆さんへのメッセージとして、また自分自身へ向けて、「これまでが、これからを決めるのではない。これからが、これまでを決める。」という言葉を中心に留めて、来年度へ臨みたいと考えています。

京都、東本願寺の門前に掲示してある藤代聡磨の言葉で、前校長先生も集会で話されていました。これからの生き方が、これまでの意味を決めるのだという思いで、どんな年齢になっても常に前進しながら、今後も働かせていただきます。よろしくお願いします。

【小田切秀樹先生】



☆これまでの思い出について教えてください。

卒業生の活躍が一番うれいものです。二高に赴任した年の卒業生である小保内君は現在ガラス工芸作家として活躍中

あり、今では私の親友でもあります。また藍染作家をしている諸君の徳島県の工房BUAISOUを訪ねました。高校生の時とは逆に、藍染を体験させてもらいました。また、彼が研究している畑から無農薬の藍を育てて染織する工程を見せてもらったことが大切な思い出となっています。これからも卒業生の活躍が楽しみです。

☆同窓生の皆さんへ一言お願いします。

美術は社会を豊かにしていくことができます。高校を卒業したら、美術に携わる皆さんは教員子というより、仲間です。美術を通して一緒に日本を豊かにしていきたいものです。自分が作品を作るだけでなく、アート活動をしていく若者を育てることが、美術を通して社会に貢献できる近道ではないかと考え、美術コースの教員になりました。卒業生の活躍や優秀な美術コース生を見るにつけ、八戸にきて美術コースで指導したことは間違いではなかったと感謝しています。

美術コース おもな受賞作品の紹介



今年度の青森県高校総体ポスターに採用された作品と青森県高校総合文化祭ポスターに採用された作品および美術部門の受賞作品を紹介します。制作した生徒の皆さんからのコメントもお聞きしました。



「県高校総合体育大会」ポスター 最優秀賞
2年 甲地七菜さん

【制作者のコメント】
相撲競技を題材に、勝利へ向かう姿、最後まで諦めない姿を描きました。最優秀賞の知らせを聞いた時、信じられませんでした。力が迫力を出そうと頑張った結果が出て大変嬉しかったです。またポスターが校内に掲示された際、大会を盛り上げる力

になったことを実感し携われたことに感謝しています。

「県高校総合文化祭」美術部門 優良賞
タイトル「埃を被る光」
2年 相内奏空さん

【制作者のコメント】
古くなり使われなくなった物置部屋が持つ独特の雰囲気を感じ、落とし込み表現しました。物置の中はものが沢山あり、色もそれと同様に多

第44回 青森県高等学校総合文化祭

開こう 明日への扉 築こう 未来のカタチ

10月6日(金)～8日(日) 10月13日(土)～15日(月) 10月23日(土)～25日(月) 10月28日(土)～29日(日)

入場無料

会場	開催期間	開催時間
青森県立美術館	10月6日(金)～8日(日)	10:00～18:00
青森県立美術館	10月13日(土)～15日(月)	10:00～18:00
青森県立美術館	10月23日(土)～25日(月)	10:00～18:00
青森県立美術館	10月28日(土)～29日(日)	10:00～18:00

いはずなのに不思議な全体感があります。そこに一筋の光が入る様は、晴朗よりも綺麗に思えました。差し込む光が埃や瓶を反射している瞬間を捉え、いかにこの空間が自分にとって特別でかっこいいのかを演出しました。この作品を見る人も、物置部屋が持つ魅力に気が付き、共感してくれたら嬉しいです。

「県高校総合文化祭」ポスター 最優秀賞
2年 小笠原 葵さん

【制作者のコメント】
文化祭ということで祭りのイメージを膨らませ、街全体が活気に満ち、パレードで心躍る様子を表現しました。種目に模した建物を配置し、八戸がメイン会場ということもあるためウミネコ、マチニワ、美術館など八戸に関連したのも面内に取り入れました。新たな学びや交流を大事にしながら文化祭を盛り上げられたいと思います。



活躍する先輩たち

音楽家 山内 政幸さん (18回生)



公益社団法人
日本オペラ振興会



★山内さんは東京にお住まいで、音楽家としてご活躍ですが、これまでの活動について教えて下さい。

—藤原歌劇団の23期マスターコース修了後に入団となり、その後は隔年月で渡伊し、現在も藤原歌劇団の公演を中心に活動しています。そして文化庁巡回公演、NHKニューイヤーパーラコニサート、帝國ホテル、日本丸クルーズ、各種コンサートや市民オペラ、第九ソリストなど、様々な舞台にも幅広く出演しています。他の活動としては自主企画公演、合唱団の指導やレッスンを依頼することもあります。

★音楽家として活動しようと思ったきっかけは何ですか？

—学生時代、師匠でもある折江忠道が藤原歌劇団に出演した「椿姫」を観覧し、父親役として息子



への愛を奏でる歌に涙が止まらなくなり、終演後の楽屋口で先生に「自分も先生のようにになりたい」と言った日がきっかけです。

★高校時代の思い出は？

—最も大きな思い出はカナダ研修で、自身初の海外経験はまるで映画の世界にいるようでした。最初の三日は発音を通じない場面が多すぎて、ほぼ筆談とボデイランゲージを駆使しながら過ごしました。そんな滞在中、た



またま放課後に現地高校生と仲良くなる機会があつて体育館で一緒にバスケをしたのですが、国境を越え、言葉がそこま

★今後の目標を聞かせてください。

—目の前には藤原歌劇団創立90周年ですが、10年後の当団100周年記念の先に向かつて、これからますますの皆さまへ本公演や自分の歌も楽しんで頂ければという事と、叶うならば後輩たちと舞台でご縁がありますよう願っています。

★今年度卒業する皆さまへメッセージをお願いします。
—まずはご卒業おめでとう



うございます。様々なことにチャレンジし、失敗を恐れず、アクシデントすら楽しめる人になって欲しいです。時には結果に繋がらず、悔しい思いをすることもあるでしょう。しかしそれは、改めて自らに必要なことを備え、逆転の未来を得る最高のチャンスです。臆する事なく、余分なプライドを削りながら目指す目標にひたすらチャレンジし、その境遇を楽しんでください。そして、日本という狭い社会概念に捉われず、どんどん海外へ行って文化・常識に触れ、ご自身の器を拡げて欲しいです。人には向き不向きもあるものですし、たくさん

の考え方や感じ



方を知り、より多くの仲間とより大きなことを達成して欲しいです。
最後に、フランス革命のスローガンでもある「Liberté、Egalité、Fraternité」は我が母校共通の精神で、レ・ミゼラブルという作品でも示されるように、何があるうとも同志と立ち上がる民衆の力、力強く生きようとした人間の尊さ、誇りを示した言葉です。いつもたくさんの二高の同志があなたを見守っています。これからも、誰も生まれ変わらないあなただけの人生の物語をぜひ楽しんでください。
★最後に同窓会の皆さまへ一言お願いします。
—昨年8月の「蝶々夫人」八戸公演に際しては当団から宣伝隊長の役割も託されましたが、八工大二高・同窓会の住吉事務局長・相談役を中心

同窓会ホームページ
<http://www.kodai2-ob.com/>



登録
をお願いします。

八戸工業大学第二高等学校同窓会本部
同窓会担当 田中 洋
〒031-8505 八戸市大字妙字大開67番地
電話0178-25-4311 FAX0178-25-0568
Eメール p8@kodai2-h.ed.jp

に、母校や地域の皆さまからも様々な熱いご協力を頂き、おかげさまで各会場ともスタンディングオペレーションの盛会となりました。心より御礼申し上げます。これからも人と人の繋がりを大切に、二高同窓会で仲良くして頂いた皆様、先生方、一人を超え卒業生を抱える二高同窓会でまたお会いしましょう。

令和5年度 主なトピックス

〔4月〕8日および18日、エドグレン高校と各部活動が交流試合を行った。高校生同士仲良くなった生徒もおり、試合終了後は楽しい会話も弾んだ。

29日、5月1日にかけて開催された青森県高等学校春季バスケットボール大会において、女子バスケットボール部がベスト8に入賞した。

〔5月〕3日、5日、県ジュニアテニス大会の16歳以下シングルスで、1年生の大場祐悟さんが優勝（ダブルスも優勝）、18歳以下シングルスで3年生の坂本宇慶さんが準優勝し、東北ジュニア大会に進出決定した。

6日、28日にかけて開催された「第70回 春季東北地区高等学校野球青森県大会」において、野球部が三大大会連続となるベスト8に入賞した。

27日、28日に熊本市で開催された第67回日本歯学会の中高生発表部門に、3年生の相馬輝紀さん、千葉柗奈さん、山谷里桜さんが「八戸市南郷地区でおこなった味噌玉製造の再現」というテーマで出場し、優秀賞を受賞した。

〔6月〕2日、5日に開催された第76回青森県高校総体テニス競技におい

て、男子が団体準優勝、個人ダブルスで3年生の坂本宇慶さんと大場祐悟さんのペアが準優勝、個人シングルスで坂本宇慶さんと大場祐悟さん両名が第3位に入賞。サツカー競技では女子サツカー部が準優勝を果たした。また5月26日、29日の陸上競技男子やり投げにおいて2年生の清水健人さんが第2位に入賞。男子テニス部および清水さんは、東北大会に出場した。



2年生の甲地七菜さんの作品が第76回青森県高校総合体育大会ポスターコンクールにおいて最優秀賞に選ばれ、6月2日の県高校総体開会式にて表彰された。

10日、二高生がつくる子ども食堂「ここに食堂」を開催した。総合的な探究の時間に「子ども食堂」をテーマに活動している生徒が企画・運営した。八戸市だけでなく、三沢市や階上町から子どもたちが参加して、高校生と一緒にお菓子パーティーやジャンボかるたなどを楽しんだ。

13日、ケンタッキー州にあるイースタン高校から11名の留学生が来校した。ウエルカムイベント

や習字の体験、14日には生け花やせんべい汁作りなどを行った。留学生は16日まで二高生と一緒に学校生活を送った。

16日、体育祭を実施。荒天ではあったものの、生徒会を中心に企画された競技は、屋内でも楽しく盛り上がる内容であった。ホームステイをしていたイースタン高校からの留学生も体育祭に参加して交流を深めた。

17日、18日、盛岡市で開催された「第64回東北高校テニス選手権大会」において、男子団体にてベスト8進出を果たした。

〔7月〕16日、17日、二高祭・附属中祭を実施した。各部活動やクラスの模擬店をはじめ、各種イベントや展示等を行い、1400名を超える来場者があり、大盛況だった。



第105回全国高等学校野球選手権記念青森大会（甲子園予選）にて、野球部がベスト8進出を果たした。

27日、「みんなで話そう」看護の出前授業」を実施。講師の山端澄子氏（青森県看護協会思春期応援隊）より講演いただいた。血圧測定や手洗い実習、ベッドから車いすへの移乗介助などの看護技術体験も行った。

29日、北八甲田山系登山を実施し、中学生27名が参加した。ロープウェイで山頂駅まで登り、散策コースを巡った。東北大学植物園では、植生観察を行った。

29日、30日に、東北大学大学院理学研究科附属浅虫海洋生物教育センターにて臨海実習を行った。カサガイの観察のほか、ウミホタルやクラスのリンクトンの採取などのフィールドワークを実施した。

〔8月〕1日、2日、番町サテライトキャンパス「ぼんらぼ」にて、二高鮫・蕪島観光ボランティアとして活動している生徒たちが、八戸三社大祭の観光客を対象に、オリジナルキーホルダーの制作や観光ガイド等これまでの活動の様子などを紹介した。6日には館鼻岸壁朝市にて本校作成のリーフレット配布と、生徒オリジナルの八戸観光マップも披露した。これらの活動の報告として、代表の生徒が9日に八戸市長に表敬訪問した。

〔9月〕2日、3日に行われた「令和5年度三八地区高校新人バスケットボール大会」において、男女ともに第3位に入賞した。また、男女1名ずつが優秀選手賞に輝いた。

3日、第3回競技かるた初段認定青森大会が開催され、2年生中野結愛さんが、三試合全勝で優勝、初段位に認定された。

美術コースとJ.R.八戸駅が連携を図り八戸をArtsで盛り上げる「駅からArts」プロジェクトとして、その第一弾として、スケッチ実習優秀作品を八戸駅1階西口ギャラリーに展示した。

10日、東北大学で開催された「令和5年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部80周年記念国際会議」にて生徒4名が、マイクロナラスチックについてポスター発表をした。

9日、10日に行われた三八地区高校卓球新人選手権大会にて、団体女子が第3位に入賞した。

12日、独立研究者の森田真生氏に「僕たちはどう生きるか」と題して、ご講演いただいた。

令和5年度南部七唄七踊り全国大会七唄中高中生の部にて、2年生の松原佑奈さんが優勝した。

〔10月〕青森県高等学校総合文化ポスター部門において、本校美術コース



2年小笠原葵さんが最優秀賞に選ばれた。写真部門では、2年生の遠藤芽依さんが最優秀賞に選ばれ全国大会に出場。美術部門では2年生の相内奏空さんが優良賞に選ばれ、全国大会に出場となった。

硬式テニス部1年生の大場祐悟さんが、7日から開催された「鹿児島国民体育大会テニス少年男子」の青森県代表選手として出場。1977年に青森県で開催された「あすなる国体」以来46年ぶりに3回戦へ進出、ベスト16入りを果たした。

21日、22日、ウインターカップ青森県予選において女子バスケットボール部が創部以来初のベスト4進出を果たした。

同日、県南高校新人バドミントン選手権大会において、女子ダブルス第3位に2年生の田中珠羽さん・蛭原美優さんが入賞。また女子シングルスにおいて、蛭原さんが第3位に入賞した。

25日、声優の神谷明氏による文化講演会を実施した。声優までの道のりや声優としてのご活躍のほか、プロの技の数々をご披露いただいた。

〔12月〕9日に開催された「ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」にて、マイクロナラスチック研究班が活動発表を行った。

16日、17日、札幌市で行われた東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会において、個人戦で2年生の中野結愛さんがD級第2位、高屋敷柚希さんがD級第2位に入賞した。また、中野さんと高屋敷さんは、団体戦でも青森県代表Bチームとして同大会に出場し、第3位に入賞した。

17日、北奥羽高校卓球大会女子シングルスにおいて2年生の木村瑠那さんが第2位に入賞した。

高校生エネルギーレポートコンクールにて、2年生の楠本明莉さんと1年生の奥山七夏美さんが優良賞を受賞した。

23日、児童生徒の探究型学習・課題研究発表会である「ユネスコスクール北海道・東北ブロック大会」において、本校のウミネコ生態研究班が第1位に輝いた。

〔1月〕18日、19日、総合コース1、2年生を対象に八幡平パノラマリゾートスキー場にてスキー教室を実施した。

26日、28日、美術コース作品展が八戸ポータルミュージアムはっちにて行われた。

―他多数の活動を実施。

今年度は東京で同窓会を開催

今年春卒業、昨年卒業生(49・48回生) 会費無料

第49回八戸工業大学第二高等学校同窓会in関東(46)開催

今年卒業、一昨年卒業生(48・49回生) **会費無料**

昨年から隔年で同窓会開催になりましたので、今年度は関東支部での開催になります。

◎日時
令和6年6月16日(日)
13時30分～15時45分

◎会場
アルカディア市ヶ谷
(私学会館)
東京都千代田区九段北
4-2-25

電話03-33261-9921
JR中央線(各駅)市ヶ谷駅徒歩2分
地下鉄有楽町線・南北線市ヶ谷駅(A1-1)出口から徒歩2分

第49回同窓会in関東

日時：6月16日(日)
13:30～15:30
会場：アルカディア市ヶ谷
東京都千代田区九段北4-2-25



◎会費

*48回生・49回生無料
*0回生～47回生
*家族を含め 二千元

*ご来賓一人 七千元
◎申込締切日
令和6年5月31日(金)

必着で参加希望者は、QRコードでも申込できます。

情報交換納涼会開催

第25期光彩会総会後、光彩会主催の納涼会を開催します。

◎日時
令和6年8月11日(日)
18時～20時30分

◎会場
八戸パークホテル
八戸市吹上一丁目
15-90

電話01778-431111

光彩会主催 情報交換納涼会

日時：8月11日(日) 18:00より
会場：八戸パークホテル
会費：1人6,000円

ページ右のQRコードでお申込みください。



1111
◎会費…一人六千元
◎懇親会申込締切日
令和6年7月29日(月)

必着で参加希望者は、QRコードでも申込できます。

6/16 同窓会in関東
8/11 情報交換納涼会

どちらも右のQRコードから申込可能




二高カードを
で活用ください

昨年発行の二高カードを使われていますか？
協賛店(同窓会ホームページに掲載)でカード

下記の者は八戸工業大学第二高等学校同窓会の会員であることを証明します

同窓会番号: 氏名:

※ご記入の際は細い油性ペンをご使用ください。

 飛翔OB会

- 本証は他人に貸与、譲渡することはできません。
- 本証を曲げたり、汚さないようご注意ください。
- 協賛企業や店舗の担当方に、免許証や保険証等の身分証明書の提示がありましたら提示をお願いいたします。
- 本証を紛失・破損したとき、又は内容に変更があった場合は本証までご連絡ください。再発行は有料となります。

を提示すると、様々な特典が受けられます。受けられるサービスは店舗毎に異なりますので、チェックしてみてください。カードを使用することで、地域経済を活性化の一翼を担うことができます。

その際、必ず裏面に指名を記入してからお使いください。

二高カードで地域に貢献していきましょう！

二高同窓会会員 カード紛失

令和5年6月に同窓生から電話があり、「二高同窓会会員カード」を紛失したので、再発行してほしいとの連絡がありました。この件は、6月29日の役員会で審議した結果、再発行にかかる費用は、再発行料五百円と郵送料・事務手続等(五百円)を含めて合計千円と

- 〔関東地区幹事〕
- 1組 雇地 悠紀
 - 2組 山谷 里桜
 - 3組 岩木 理桜
 - 4組 溝口 蓮紀
 - 5組 坂本 宇慶
 - 6組 松林 莉子
 - 7組 渡邊 美佑
 - 8組 猪俣 紗葉
 - 9組 楠 優華里

- 〔八戸地区幹事〕
- 1組 相馬 輝紀
 - 2組 柏崎 聖愛
 - 3組 細井 紫乃
 - 4組 河原木 琉惺
 - 5組 榎木 滉矢
 - 6組 上野 政宗
 - 7組 河端 風月
 - 8組 川原 玲
 - 9組 新堂 史哉

決議しました。7月24日に入金を確認してから、同窓生にカードをお渡ししました。

【再発行の手順】
*紛失した旨を事務局まで連絡。
*「氏名」・「回生」・「住所」・「電話番号」の4項目は必ず伝えてください。
*事務局より、「紛失届書」「請求書」「返信用封筒」を郵送します。
*事務局に「紛失届書」が届き、振込を確認して、「二高同窓会会員カード」を郵送します。

「もう一度」
楠 優華里
もしも、もう一度選択するチャンスがあるとしたら、私は躊躇うことなく同じ選択をするだろう。ここで出逢えた大切な友人と大好きな先生と、二高で青春時代を駆け抜けた私にもう一度出会うために。

クラスのみんで蒸し暑いアトリエに引きこもって文化祭の巨大パネルを描き上げたこと。演劇部の脚本について夜遅くまで部員と電話で話したこと。修学旅行の夜にパジャマで海辺の彫刻を眺めて散歩したこと。受験対策で土日出校したときに、担任の先生が果物を

を剥いてくれたこと。二高で過ごした時間を思い出そうとすると、壊れた砂時計から零れる砂のように溢れ出て止まらなくなる。この時間の終わりが近づけば近づくほど、時が戻って欲しいと何度か思った。もう二度とみんなで過ごした学校生活は繰り返されないう、二度とどの高校へ行こうか選択する日はやってこない。だからこそ、この三年間がどれほどかけがえない時間だったのかを私は知っている。私は自分の中に宿した宝物の三年間のおかげで、この先も一度きりしかない人生を進み続けることができるのだ。

「これからも」
山谷 里桜
附属中を含めた6年間の学校生活は、様々な面で成長できた日々だった。特に人前で発表することや、自分を表現することに関しては、自信を持てるようになった。当初私は、授業で発言することが苦手で、ましてや人前で発表することなど絶対にできないと思っていた。しかし、附属中学校に入学後、全校生徒の前で級友と発表することにになり、緊張で胸がつぶれそうなおもったが、発表後は、そんな気持ちを吹き飛ばすような達成感を得ることができた。一緒にやろうと声をかけてくれた級友には感謝の気持ちでいっぱい。その後、高校では味噌玉の研究活動に参加した。八戸工業大学の先生のもとで研究を続け、日本歯学会中高生発表部門で発表をしたことが、優秀賞をいただくことができた。研究仲間と乗り越えた経験は、更なる自信につながり、一生の財産となった。今でも発表する時はまだまだ緊張するが、卒業後も精進していきたい。

私が成長することができたのは、先生方、両親友人など様々な方のおかげである。今まで本当にありがとうございました。

卒業生の声